

会場からのご質問に対するご回答

①基調講演「ニュータウンにおける課題や取り組みについて」・増田 昇氏へのご質問

ご質問：エリアマネジメントの主体を構築する手段を具体的に説明して下さい。
<p>関連する諸団体のプラットフォームづくりからスタートし、段階を経て、主体の構築を目指します。</p> <p>プラットフォームの役割としては、自由な情報交換の場とすることと、行動に移すことができることから、徐々に始めていくことが重要です。まず、第1歩を歩み始め、歩みながら徐々に修正、改変を加え、成熟させていくことが重要です。また、関連する諸団体とは、金剛地区の場合では、UR都市機構や電鉄会社等の事業者、既存の町会等の地縁団体、子育てや介護等の特定の目的を持ったNPO等のテーマ型団体だと考えられます。</p>
ご質問：都市計画的な立場から北野田駅前の再開発をどのように見られますか。
<p>都市計画的な立場からは、時代背景が大きく異なっており、参考となる部分も、ならない部分もあると考えます。</p> <p>経済や財政状況が大きく異なることから、現在では、多くの駅前再開発で事業の採算性が非常に困難な状況にあり、大きく進展しない事例も数多くあります。</p> <p>また、整備すべき施設も、現在では商業施設が中心というよりも、商業施設とコミュニティ活性化施設が融合したものや、例えば、北野田駅前の図書館機能のような文化的生活をサポートする施設、あるいは、高齢者福祉や介護、子育て支援等の生活サポート施設等の需要が高まっていると考えられます。</p>

②実践報告「泉北ニュータウンにおけるすまいるセンターの取り組み」・西上 孔雄氏へのご質問

ご質問：府営住宅での高齢者住宅（サポート付共同住宅）について、
<p>①団地の共用階段はそのままでしょうか。</p> <p>②介助なしで階段を降りられる人が入居の対象者なのでしょうか。</p> <p>③一部屋に2人分のベッドがありますが、居住の契約はどのようになっていますか。</p>
<p>①→住戸外の改修は行っておらず、階段のままです。</p> <p>②→利用対象者は、ご自分で階段の昇降が出来る方となります。</p> <p>③→それぞれの方が、利用日数に応じた賃貸借契約を交わしております。</p>
ご質問：賃貸等分住宅や区分所有住宅では、管理組合とは別に自治会を組織しているのですか。
<p>大阪府の賃貸用の府営住宅の7部屋をお借りしております。</p> <p>自治会は、この府営住宅の自治会に加入しており、一般の住民の方と同じく自治会の役割（棟長や掃除当番など）を担っております。</p>
ご質問：取り組みにおける戸建て空家改修の戸数、多世代交流の事例数を教えてください。
<p>NPO法人すまいるセンターが運営しております地域住民の交流の場の機能を持った拠点が、現在3ヶ所あります。</p> <p>NPO法人すまいるセンター本部（堺市南区桃山台2-3-4）、槇塚台レストラン（堺市南区槇塚台3-1-1）、高倉台みんなのマーケット（堺市南区高倉台3-2-2）です。</p>
ご質問：コミュニティビジネスなるアプローチと思いますが、一般市民の関わり、議会の関わりをどのように考えていますか。
<p>地域住民の方が、自助・共助・公助の関係で地域包括ケアシステムの役割分担を、機能的に担って頂けるコミュニティビジネスモデルになればと思っております。</p>

③実践報告「金剛ニュータウンでの子育て支援の取り組み」・岡本 聡子氏へのご質問

ご質問：ふらっとスペースで”ジジ・ババタイム”をもうけるなど、高齢者もお手伝い等できませんか。

パパだけでなく、じーじ世代と子ども達が関わりを持てるのは、素敵なアイデアだと思います。可能な範囲で実践に活かしていきたいと思います。

ご質問：子供の事故について、教えてください。

親子であつまる事業、預かり保育、ヘルパー事業、子どもの活動など内容に合わせて、それぞれに対応した保険に加入しています。ただ、多くの大人の見守りが、結果的には子どもの事故を未然に防いでいるというのが現状です。

④報告「金剛地区の現状に関する調査結果等について」・富田林市まちづくり推進課へのご質問

ご質問：住民アンケート調査結果について、「金剛地区のまちの将来にとって重要だと思うこと」で、戸建ての多い地区と公的賃貸住宅の多い地区で違いはありますか。

お住まいの住宅種類によって大きな差は見られませんでした。

ただし、UR賃貸団地にお住まいの人の「高齢者等への支援が充実したまち」に対する重要度が若干高い、また一戸建ての持ち家にお住いの人の「年齢や世帯の変化に応じて住み替えしやすいまち」の重要度が若干低いといった傾向は、若干みられます。

ご質問：金剛地区の活性化について、関連のあるUR都市機構、南海電鉄 大阪狭山市（金剛駅）等、何かお考えはありますか。

活性化に向けては、地区に関係するさまざまな主体（住民、関係団体、UR都市機構、関係事業者、行政等）の連携が必要です。

また、近隣市町村との協議・連携を進めることも必要です。

これら関係主体との連携の中で、まちの将来像等を共有し、共にまちの活性化を進めたいと考えています。

ご質問：市、市民と活性化に向けていこうと本当にお考えですか。そのために何をされますか。

活性化に向けては、住民が主体となってまちづくりを進めることが重要であり、市としましては、皆さんと共にまちづくりを考え、取り組みを進めたいと考えています。